

指定文化財等台帳（市指定文化財）

名称	いたび 板碑（画像碑） がぞうひ	員数	1 基		
分類（種別）	有形文化財（考古資料）	指定番号	考 3		
指定等年月日	昭和48年 8 月 7 日	時代	鎌倉時代		
構造・形式等	紀年名「嘉暦三歳戊辰閏八月二十八日」 高さ102cm、幅55cm、厚さ15cm				
概要	板碑とは、主に供養塔として用いられる石碑の一種である。この板碑は昭和48年（1973）に喜福院墓地の入口で発掘された。阿弥陀如来の線刻は技術も洗練されて美しい。紀年名は「嘉暦三歳戊辰（1328）閏八月二十八日」高さ102cm、幅55cm、厚さ15cmの大きさで、角間川の成立とこの地域の仏教文化の考察における貴重な文化財である。				
所在地	大仙市角間川町字大浦町 地内（大曲地域）			標柱関連情報	
所有者	喜福院			標柱の有無	あり なし
所有者の住所				材質	石柱 木柱
管理責任者					その他（ ステンレス ）
管理責任者の住所				建立者	
備考				建立年月日	
				※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと	